

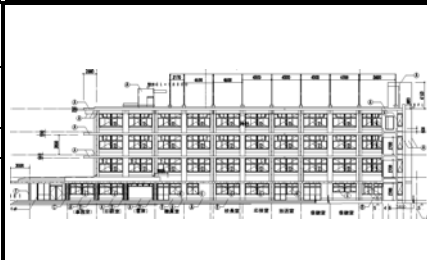
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010beibpi(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東大阪市立小阪中学校校舎増築	階数	地上4F
建設地	東大阪市宝持1丁目223番1他16筆	構造	RC造
用途地域	準住居地域、準防火地域	平均居住人員	300 人
気候区分		年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年10月3日
敷地面積	11,240 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	1,357 m ²	確認日	2014年10月5日
延床面積	3,864 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境への配慮、サービス性能の確保など、万遍なく行っている。 また、緑地を確保し、エネルギー性能への配慮を行っている。 資源の活用に努めている。 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室では、6.3%の屋光率を確保し、カーテン、庇を組み合わせて制御など、光環境への配慮を行っている。 ・内装材は主にF☆☆☆☆を採用など、空気環境の保全に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の天井高は、ゆとりのある2.9mである。 ・長尺塩ビシート、化粧PBなど、耐用性の長い仕上材を採用している。 ・耐用年数の長い、空調・給排水配管の採用。 ・空間の形状・自由さのスコアは高く、空間のゆとりに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地を確保している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネルの設置、LED照明の採用を行うなど、建物のエネルギー性能に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要水栓が節水型、節水型便器の採用など、節水に努めている。 ・OAフロア、可動間仕切りを採用など、建物のリサイクル性に配慮している。 ・防水工事のプライマー採用で有害物質の使用回避に配慮している。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	東大阪市立小阪中学校校舎増築その他工事		
	建設地	東大阪市宝持1丁目223番1他16筆		
	用途/区分	学校		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
		LED照明		
特に配慮した事項		快適な2.9mの天井高や、空間の形状・自由さのスコアも高く、ゆとりのある空間作りに取り組んでいる。		